

別紙

温室効果ガス排出削減計画

氏名	(法人にあっては名称) 旭化成株式会社		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒100-0006 東京都千代田区有楽町一丁目1番2号 日比谷三井タワー	
本票作成	部署名：製造統括本部 水島製造所 環境安全部 環境グループ				
主たる業種	分類コード	16	業種名：化学工業		
事業の概要	石油化学系基礎製品製造業・プラスチック製造業				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	旭化成株式会社【B地区】		岡山県倉敷市潮通三丁目13番地	
	②	(以下を含む)			
	③	P S ジャパン株式会社 水島工場		岡山県倉敷市潮通三丁目13番地	
	④	旭化成株式会社【C地区】		岡山県倉敷市児島塩生字新浜2767-11	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kl以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数 2 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)				

計画期間	令和 4 年度 ~ 令和 8 年度 (5 箇年度)								
削減目標	いずれかを選択	<input checked="" type="checkbox"/> 総排出量基準	目標削減率 6.0 %	目標区分	20%以上	20~15%	15~10%	10~5%	5%未満
		<input type="checkbox"/> 原単位基準						○	
温室効果ガス排出量	基準年度 (令和 3 年度)			目標年度 (令和 8 年度)					
	707,107 t CO ₂			667,107 t CO ₂					
基準年度の主な工場等の排出量	番号	工場等の名称		基準年度 (令和 3 年度) の排出量					
	①	旭化成株式会社【B地区】		707,107 t CO ₂					
	②	(以下を含む)		t CO ₂					
	③	P S ジャパン株式会社 水島工場		t CO ₂					
	④	旭化成株式会社【C地区】		t CO ₂					
				t CO ₂					

※ 「計画期間」欄には、5箇年度以内で特定事業者が定める期間を記入する。

(原単位基準の削減目標を選択した場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容		原単位当たり排出量	
			基準年度	目標年度
			CO ₂ / ()	CO ₂ / ()

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値 (令和 3 年度)	達成率 (%)
指標の状況				

【目標削減率設定の基本的な考え方】

・2021年度から検討している、全社目標達成のためにテーマアップした件名より、目標年度に達成の可能性のあるものを抽出し、2030年度に向けての経過目標として設定した。詳細検討はこれからであり、現段階での期待値であることを補足する。

【目標削減率達成のための推進体制】

環境安全推進体制：旭化成グループ環境安全・品質保証委員会およびグループ環境安全・品質保証推進会議委員会・推進会議の役割
 ・旭化成グループ環境安全・品質保証委員会：グループの環境安全・品質保証活動結果について審議する。
 ・グループ環境安全・品質保証推進会議：事業会社等、事業本部等ならびに支社および製造所の環境安全・品質保証上の問題等について審議する。

【排出量削減のためのこれまでの主な取組】

工場等の名称	取組内容
* 水島地区 * 延岡地区 * 守山地区 * 川崎地区 * 鈴鹿地区	<ul style="list-style-type: none"> ・高効率ボイラへ更新等、省エネの推進 ・水島構造改善による事業の見直し（約100万トン削減） ・一酸化二窒素の分解（約600万トン削減：二酸化炭素換算） ・ガスタービン式コージェネレーション設備導入 ・ガスエンジン導入による発電効率の改善 ・ガスタービンコージェネレーション設備導入 ・発泡剤の転換（18万トン削減：二酸化炭素換算） <その他全般> スワップ、モーダルシフト、節電活動 等

【計画期間中に目標削減率を達成するために実施する措置】

工場等の名称	措置内容
* 水島地区 * 延岡・日向地区 * 鈴鹿地区 * 富士地区	<ul style="list-style-type: none"> ・検討テーマの詳細検討と提案（テーマ確定し実施） ・新工場（建設中）の廃棄物のバイオマス燃料化検討 ・ハイポア日向工場での生産性向上による省エネ ・愛宕事業場での脱オイル塔蒸気削減 ・ガスタービン効率化（逆潮自己託送） <ul style="list-style-type: none"> ・TEPCOアクアプレミアム導入（拡大）での化石燃料電力の削減 <その他全般> 省エネの推進、スワップ、モーダルシフトの推進、節電活動の継続、クールビズ推奨期間の設定（本社・事務所地区）、P C省電力モード設定の推奨

【森林保全等吸収源対策への取組計画】

県内での取組	無	
その他	有	宮崎県で「あさひの森」20haで2007年度から植林し、現時点では45haを植林しています。今後、植林を拡大する予定。

【再生可能エネルギーの導入計画】

県内での取組	無	
その他	有	<ul style="list-style-type: none"> ・宮崎県延岡支社では、水力発電およびバイオマス発電の継続。 ・その他地区へのバイオマス発電展開の検討。 ・その他地区での太陽光発電導入等。

【その他特記事項】

<排出量の算出について>
 1) エネルギー起源 : 省エネ活動報告値（中電クレジット補正前）を使用
 2) その他 : 生産活動に伴う排出量を算出して使用
 3) 排出量の外数 : 石油タールピッチ由来の二酸化炭素【対象区分に該当せず】は、実績報告の外数として、その量を特記事項欄に明記する。